

今後の天候について

2014/3/14

株式会社ウェザーマップ

107-0052 東京都港区赤坂5-4-9 いちご赤坂五丁目ビル6F

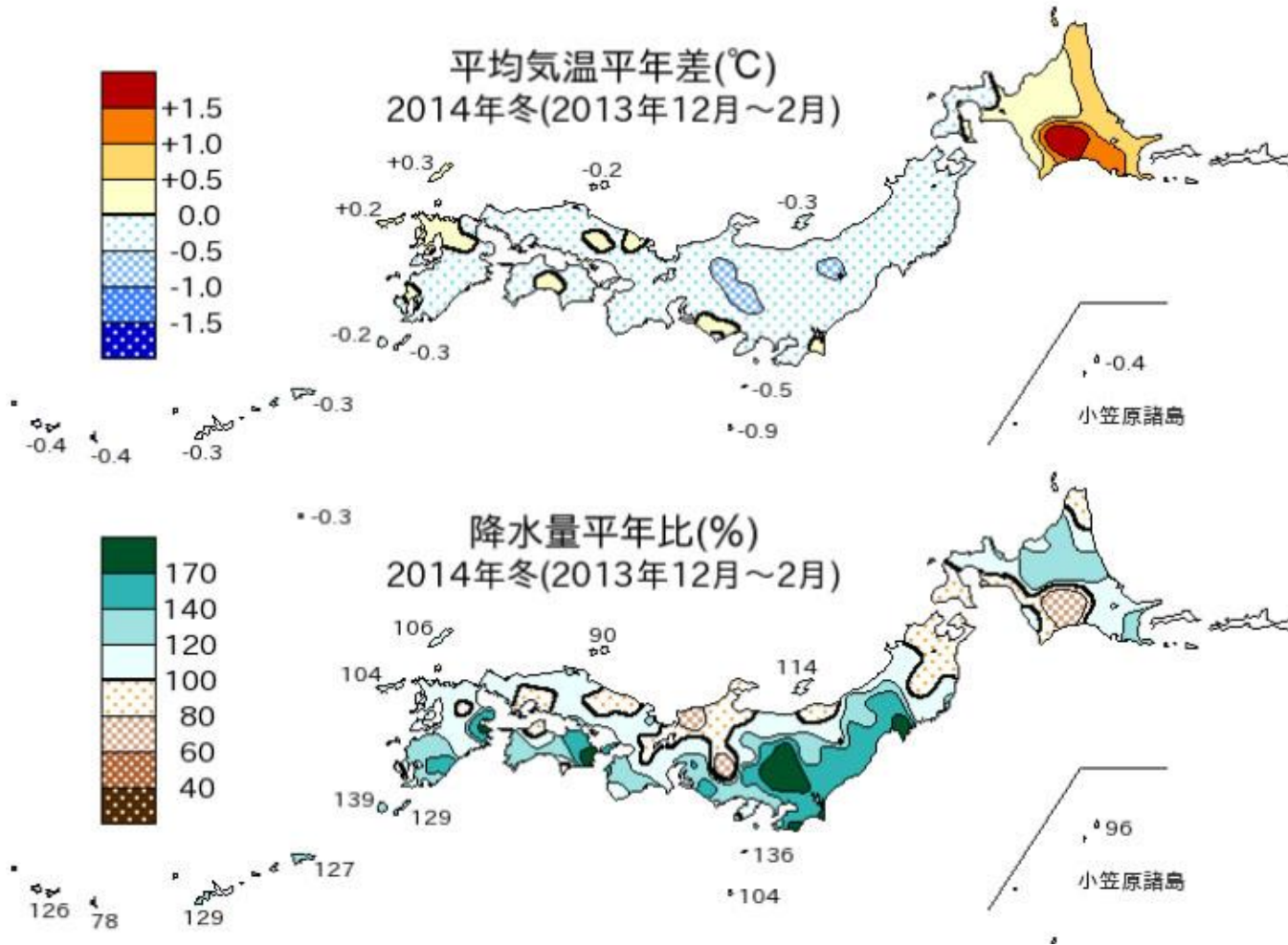
TEL:03-3224-1785/FAX:03-3224-1786

<http://www.weathermap.co.jp/>





今冬のまとめ





東日本では3年連続の寒冬

- 東日本と沖縄・奄美は寒冬

東日本では3年連続の寒冬となった。北・西日本では平年並だった。

- 日本海側は一部地域を除いて少雪

日本海側の降雪量は北日本の山沿い等を除いて全般に平年を下回った所が多く、特に北陸地方の平地では平年を大きく下回った。

- 太平洋側では大雪に2度見舞われ、関東甲信地方を中心に記録的な大雪となった

低気圧が発達しながら日本の南岸を通過し、太平洋側では広い範囲で大雪となった。特に、2月14日から16日にかけては、関東甲信地方を中心に過去の最深積雪の記録を大幅に上回る記録的な大雪となった。





3~5月の予報(平均気温)

	平均気温 3月	平均気温 4月	平均気温 5月
北日本	低 40 並 30 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並の見込み
東日本	低 40 並 30 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並の見込み
西日本	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並の見込み
沖縄・奄美	低 40 並 40 高 20% 平年並か低い見込み	低 40 並 40 高 20% 平年並か低い見込み	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並の見込み

↑

数値は予想される
出現確率です

平均気温 3月

平均気温 4月

平均気温 5月



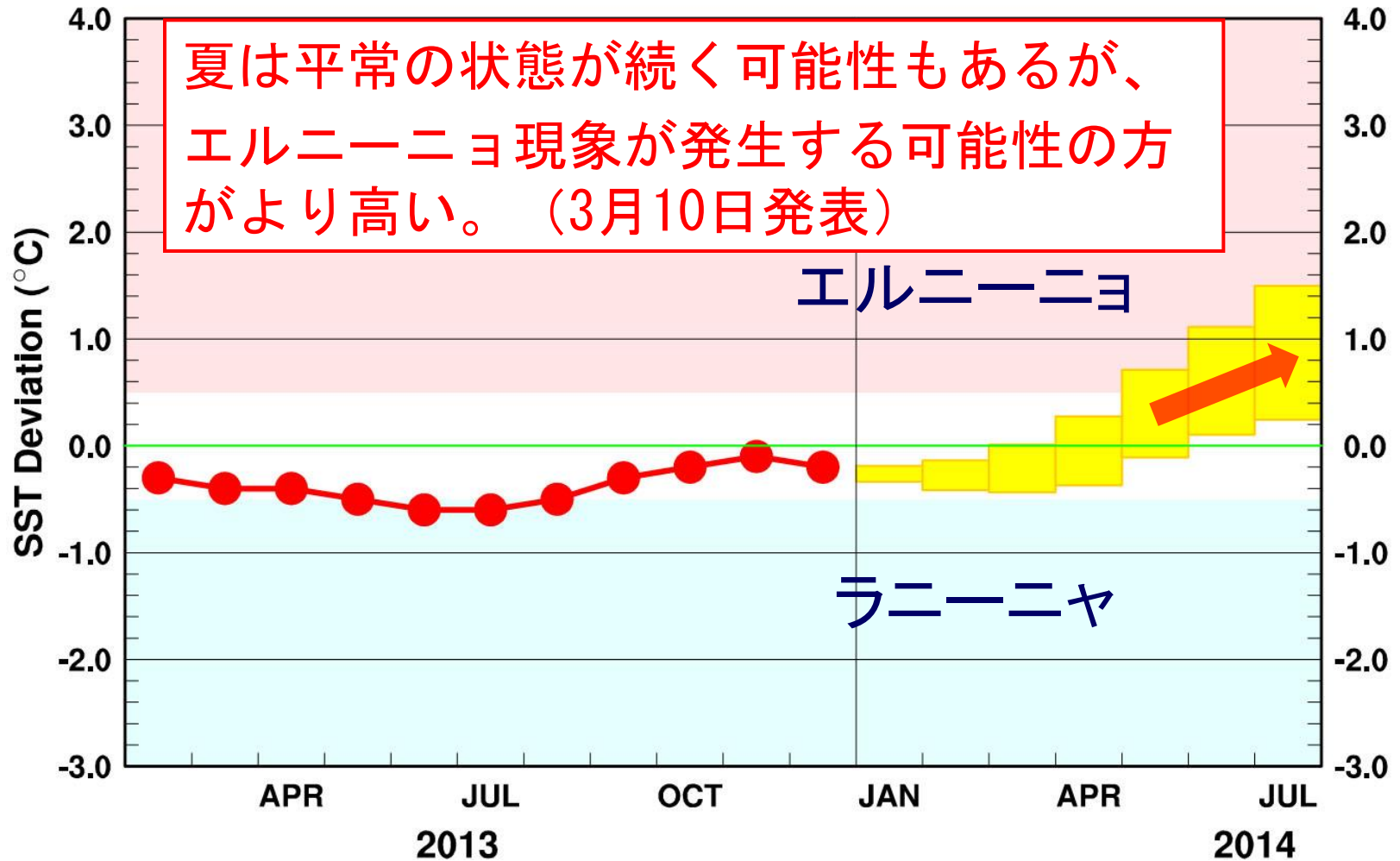
3~5月の予報(降水量)

		降水量 3月	降水量 4月	降水量 5月
北日本	日本海側	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
沖縄・奄美		少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない見込み	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並の見込み

↑
数値は予想される
出現確率です



エルニーニョ/ラニーニャ現象の経過と予測(5か月移動平均値)





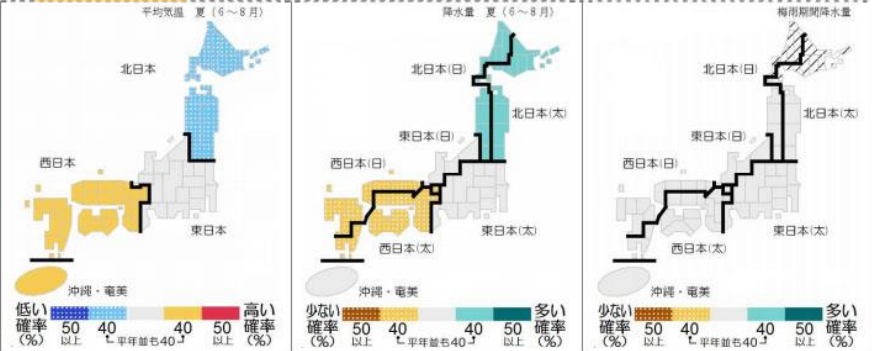
夏(6~8月)の平均気温と降水量 (2月25日発表)

夏(6~8月)の平均気温・降水量

		平均気温 夏(6~8月)	降水量 夏(6~8月)	降水量 梅雨の時期※
北日本	日本海側	低 40 並 40 高 20% 平年並か低い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側		少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み
東日本	日本海側	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み
西日本	日本海側	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側		少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並 の見込み
沖縄・奄美		低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み

3月25日に
暖候期予報
見直しの可
能性も

数値は予想される
出現確率です

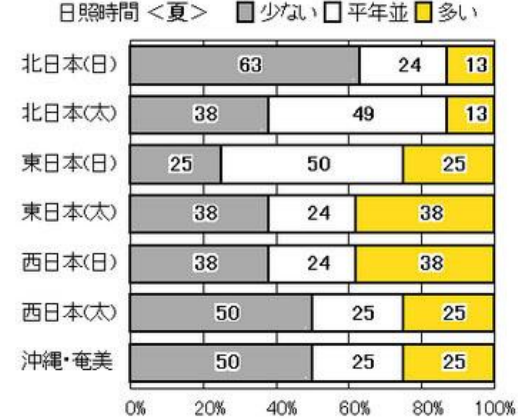
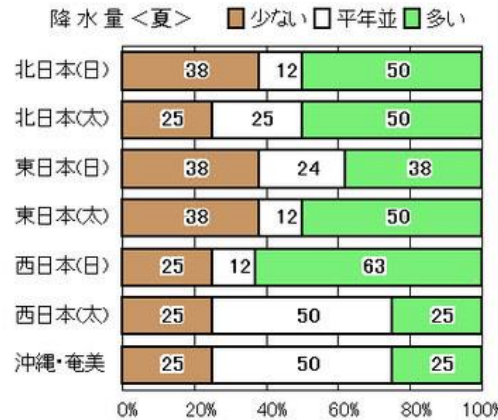
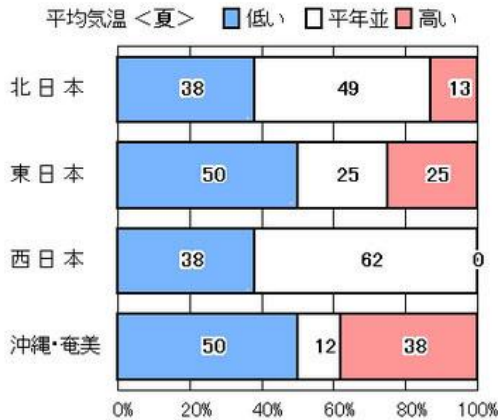


※梅雨の時期・・・北・東・西日本では6~7月、沖縄・奄美では5~6月





エルニーニョ現象発生時の夏(6~8月)の天候の特徴



エルニーニョ現象発生時の夏(6~8月)の天候の特徴(気温、降水量、日照時間)
統計期間: 1979年3月~2009年2月。棒グラフ上の数字は出現率を示す。

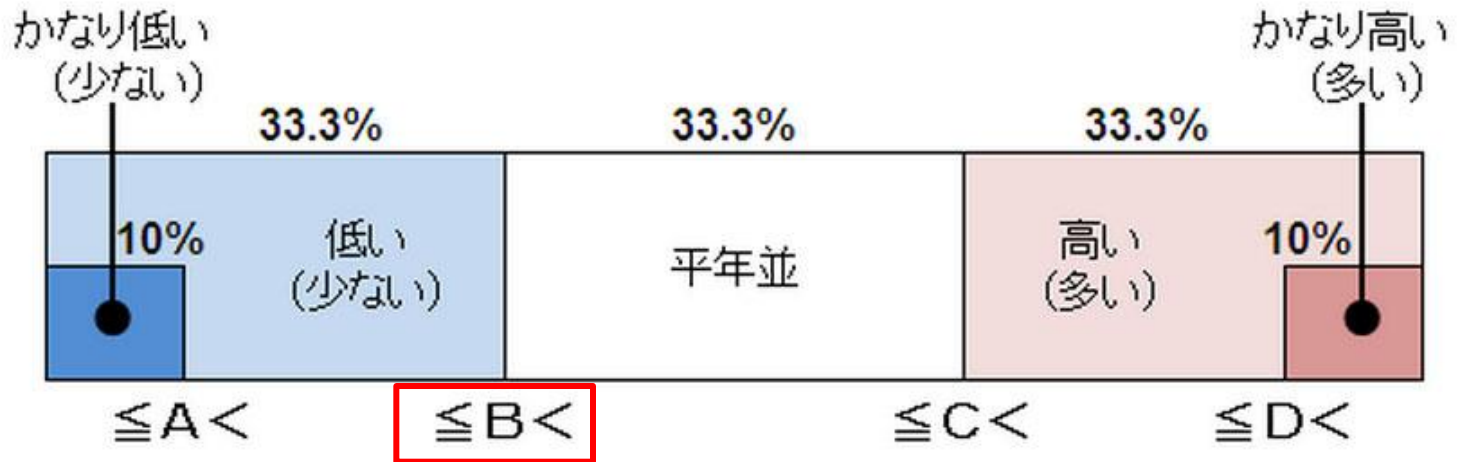
○平均気温は、北・東・西日本で低い傾向。

○降水量は、北日本太平洋側と西日本日本海側で多い傾向。

○日照時間は、北日本、西日本太平洋側、沖縄・奄美で少ない傾向。



「平年より低い」とは



●平年並の範囲

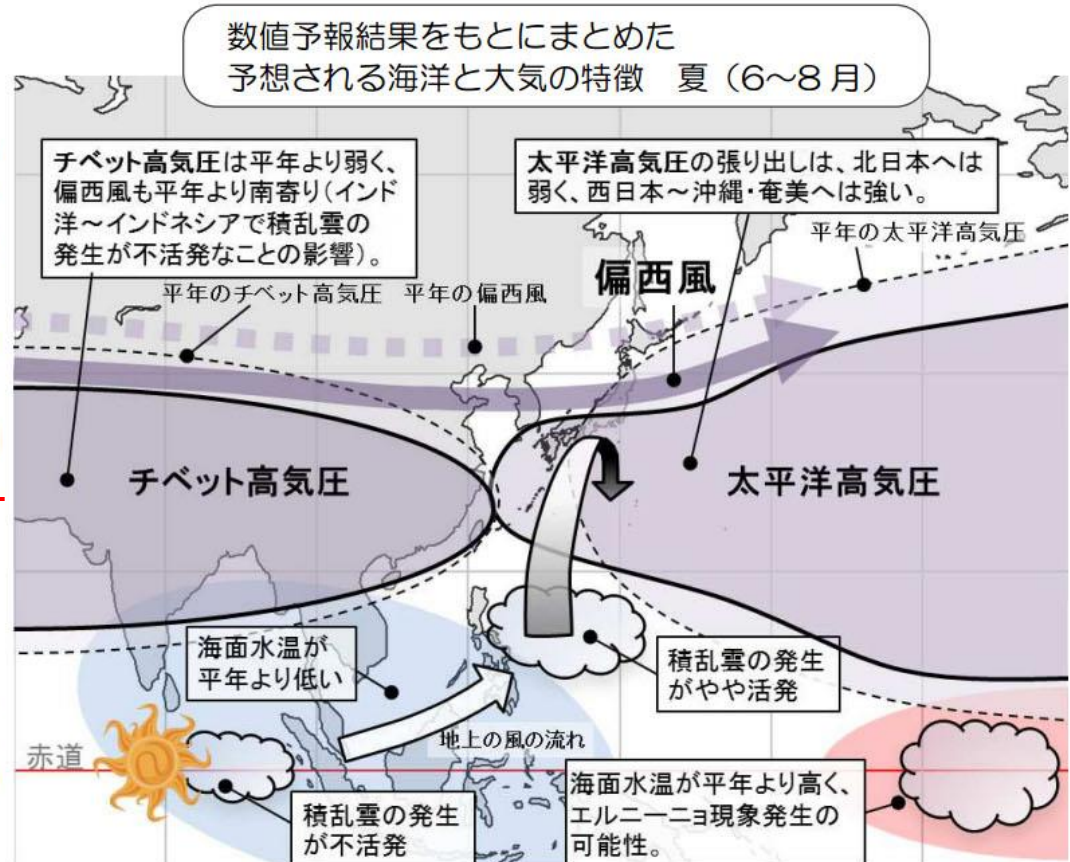
	平均気温 夏(6~8月)
北日本	平年差: -0.4~+0.3℃
東日本	平年差: -0.1~+0.3℃
西日本	平年差: -0.2~+0.3℃
沖縄・奄美	平年差: -0.1~+0.1℃

※東日本は平年差-0.2℃で「平年より低い」

海洋と大気の特徴(6~8月)

予想される海洋と大気の特徴

- 海面水温は、東部太平洋赤道域で平年より高く、西部太平洋熱帯域では平年より低い予想です。太平洋熱帯域は、平常の状態が持続する可能性とエルニーニョ現象が発生する可能性が同程度です。
- インド洋からインドネシアは、海面水温が平年より低いため、積乱雲の発生が不活発となります。このため、偏西風も南寄り、北日本では、チベット高気圧、太平洋高気圧とも弱い見込みです。
- 一方、フィリピン付近は、積乱雲の発生がやや活発となる見込みです。
- フィリピン付近では上昇気流が発生し、西日本、沖縄・奄美付近で下降するため、西日本、沖縄・奄美には太平洋高気圧が張り出す見込みです。





近年の夏の特徴

最近 10 年間の夏の特徴

年	夏の平均気温 平年差℃ (階級)				夏の天候の特徴
	北日本	東日本	西日本	沖縄・奄美	
2004	0.9(+)	1.0(++)	0.9(++)	-0.1(O)	平成 16 年 7 月新潟・福島豪雨 平成 16 年 7 月福井豪雨 梅雨期少雨
2005	0.7(+)	0.5(+)	0.6(+)	0.0(O)	6 月下旬～7 月上旬に東・西で梅雨前線による大雨
2006	0.4(+)	0.1(O)	0.5(+)	0.2(+)	平成 18 年 7 月豪雨 (九州～北陸) 梅雨期多雨傾向
2007	0.6(+)	0.1(O)	0.2(O)	0.4(+)	7 月上～中旬台風第 4 号と梅雨前線で大雨 国内最高気温記録更新
2008	-0.1(O)	0.2(O)	0.3(O)	0.4(+)	梅雨期少雨傾向 平成 20 年 8 月末豪雨
2009	-0.4(O)	-0.2(-)	-0.1(O)	0.2(+)	平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨 中国・北陸・東北梅雨明け不明瞭
2010	2.2(++)	1.5(++)	0.8(+)	0.1(O)	北・東は第 1 位の高温 7 月中旬に九州北部などで豪雨被害
2011	1.0(+)	0.9(+)	0.5(+)	0.3(+)	平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨 台風第 12 号で紀伊半島を中心に大雨
2012	0.7(+)	0.6(+)	0.4(+)	0.1(O)	平成 24 年 7 月九州北部豪雨 西日本と沖縄・奄美で多雨・日照不足
2013	1.0(+)	1.1(++)	1.2(++)	0.7(++)	秋田県・岩手県・島根県・山口県で豪雨被害 東日本太平洋側と沖縄・奄美で少雨 国内最高気温記録更新

階級 -- : かなり低い - : 低い O : 平年並 + : 高い ++ : かなり高い

まとめ

- 気温、降水量ともに3月から5月にかけては、全国的に「平年並み」が予想されるが、短い周期での変動に注意。
- 夏にはエルニーニョ現象発生の可能性があり、**北日本を中心に冷夏の可能性**もある。今後も熱帯海域の動向に留意。
- **西日本は高温少雨傾向**⇒水不足のおそれも。
- 「**一か月予報(毎週木曜日発表)**」「**異常天候早期警戒情報(毎週月曜日、木曜日発表)**」の有効活用のおすすめ。